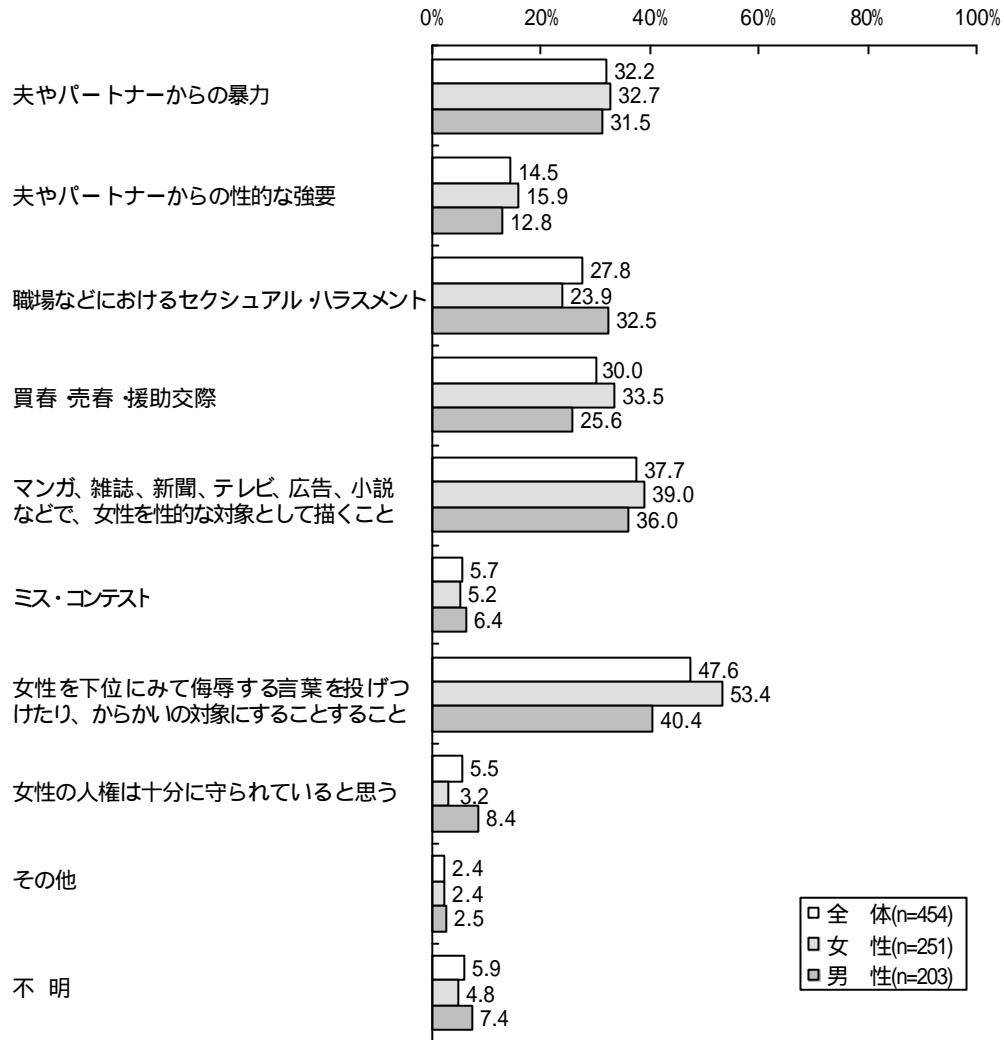


(5) 女性に対する人権侵害について

女性の人権が守られていないと感じること

問11 女性の人権が守られていないと感じるのは、どのような場合ですか。

図5 - 1 女性の人権が守られていないと感じること



「女性を下位にみて侮辱する言葉やからかいの対象にすること」は2人に1人

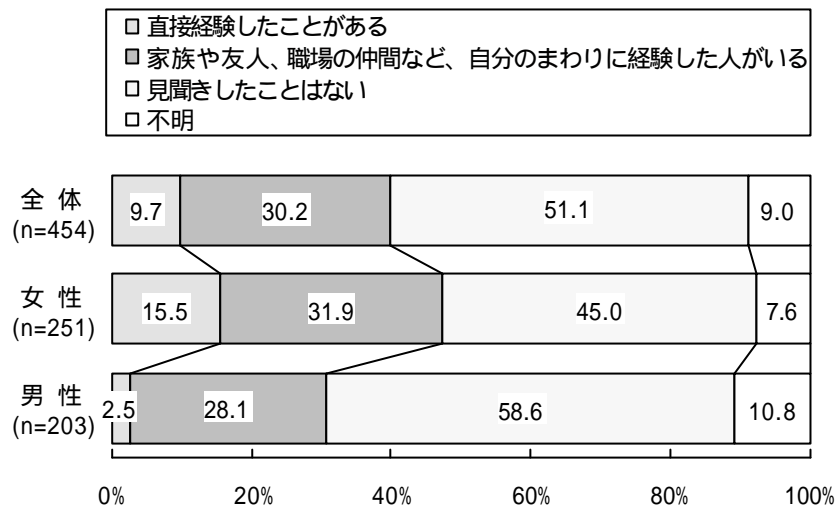
「全体」として女性の人権が守られていないと感じることの上位3位は、第1位「女性を下位にみて侮辱する言葉を投げつけたり、からかいの対象にすること」(47.6%)、2位「マンガ、雑誌、新聞、テレビ、広告、映画、小説などで、女性を性的な対象として描くこと」(37.7%)、3位「夫やパートナーからの暴力」(32.2%)である。「ミスコンテスト」(5.7%)以外はどの項目も10%~40%台で推移し、選択が多岐にわたっている。「女性の人権は十分に守られていると思う」は5.5%と低く、ほとんどの人が女性の人権が侵害されていると感じていることがわかる。

性別で比較すると、「女性を下位にみて侮辱する言葉を投げつけたり、からかいの対象にすること」の項目で13ポイントの開きがあり意識の差がみられる。

セクシュアル・ハラスメントの経験の有無や見聞きしたこと

問 12 セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたことがありますか。

図5 - 3 セクシュアル・ハラスメントの経験の有無や見聞きしたこと



セクシュアル・ハラスメントの経験がある女性は6人に1人以上

「全体」でみると、セクシュアル・ハラスメントについて「見聞きしたことはない」(51.1%)の割合が最も高いものの、「直接経験したことがある」(9.7%)は10人に1人である。

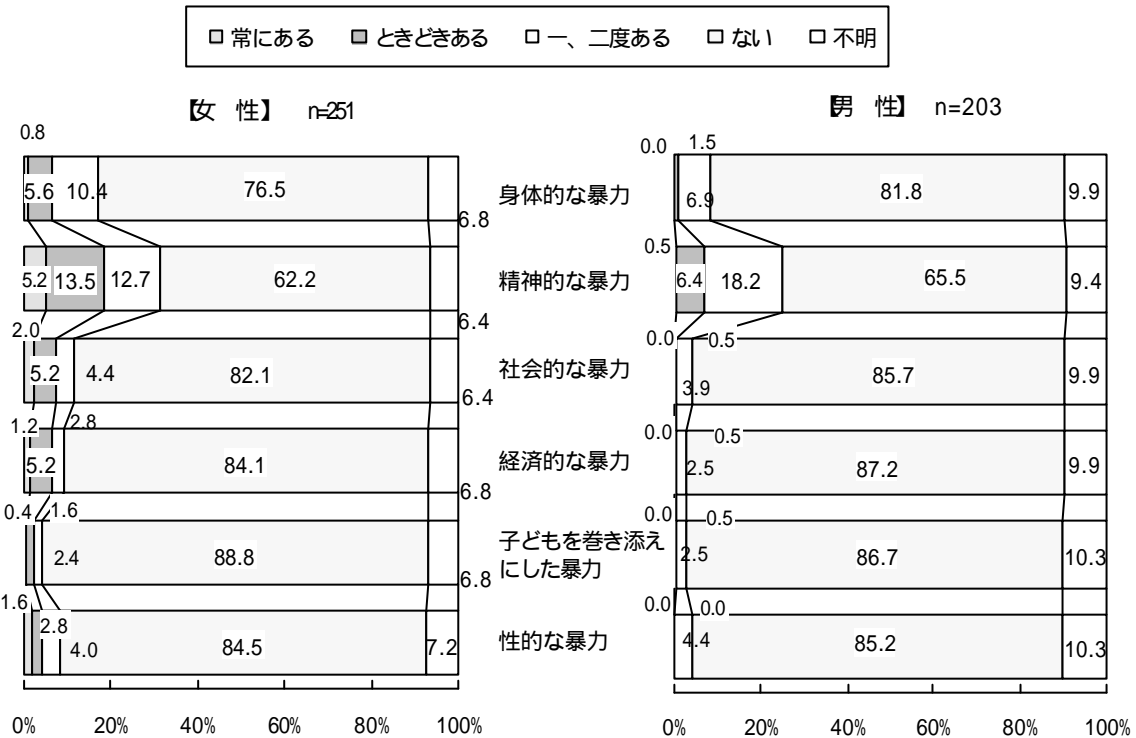
「性別」でみると、女性では、「直接経験したことがある」(15.5%)は6人に1人以上であり、「家族や友人、職場の仲間など、自分のまわりに経験した人がいる」(31.9%)を合わせると47.4%である。男性の場合は、「直接経験したことがある」は2.5%、「家族や友人、職場の仲間など、自分のまわりに経験した人がいる」は28.1%である。

女性と男性を比較すると、「直接経験したことがある」は13ポイントほど女性の方が多く、また、なんらかのセクシュアル・ハラスメントの経験がある割合(「直接経験したことがある」+「家族や友人、職場の仲間など、自分のまわりに経験した人がいる」)は、女性47.4%・男性30.6%と17ポイントほど女性の方が高くなっている。

配偶者などからの暴力の経験の有無

問 13 配偶者や元配偶者またはパートナーからの暴力についておたずねします。過去 3年間に、女性の方は、以下の行為を受けたことがありますか。また、男性の方は、以下の行為を行ったことがありますか。

図 5 - 5 配偶者などからの暴力の経験の有無



女性の6人に1人(16.8%)が一度でも「身体的な暴力」を経験している

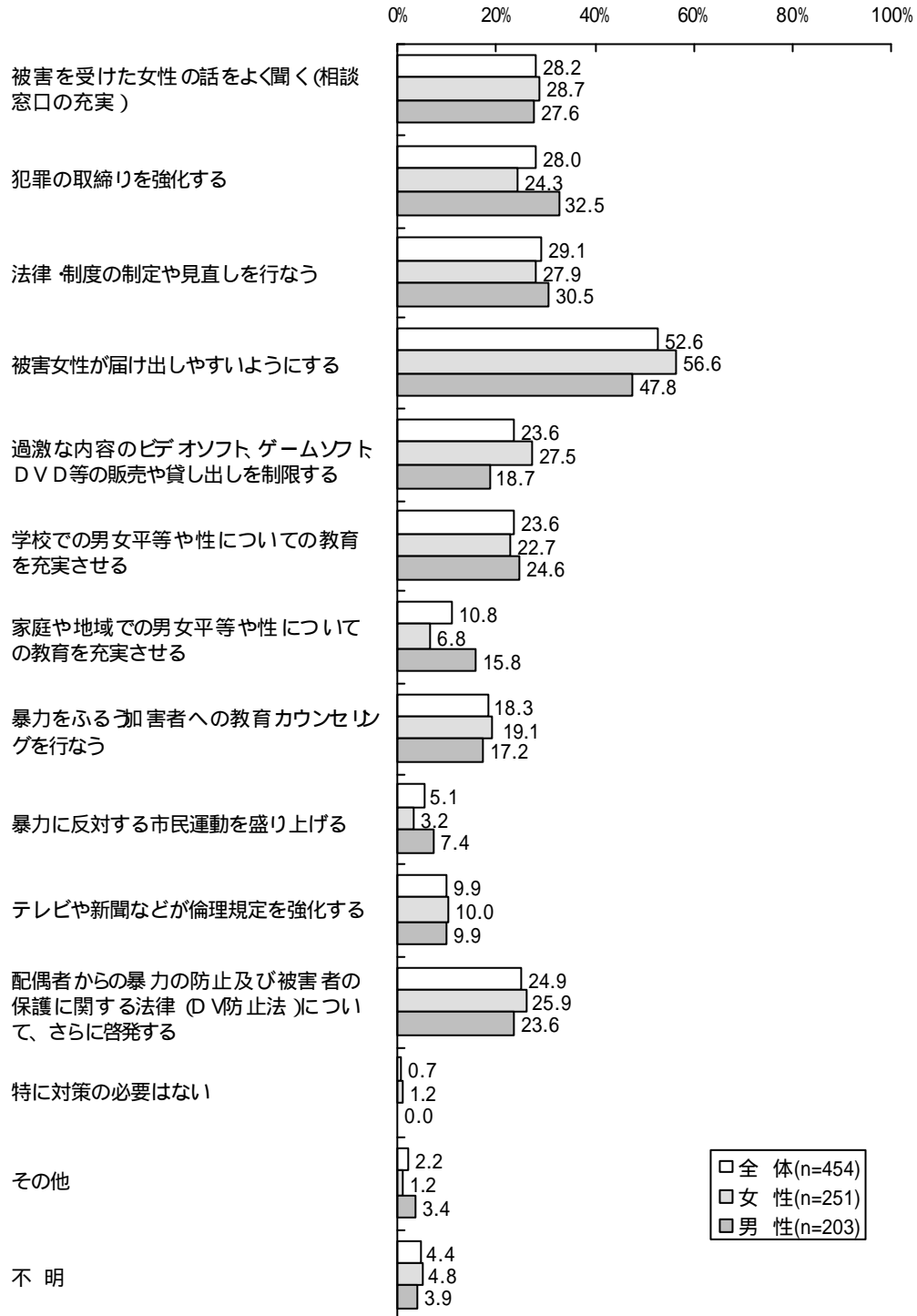
配偶者や元配偶者またはパートナーからの暴力の経験についてたずねたところ、なぐることや物を投げつけるなどの行為をいう「身体的な暴力」の「ある」割合は、6.4%で、15人に1人の割合であるが、一度でも「身体的な暴力」を経験している女性は16.8%あり、内閣府の調査(平成14年)とほぼ同様の結果となっている。

すべての暴力において、女性が「受けた」という割合は、男性が「行った」とする割合より高くなっている。

女性に対する暴力をなくすために必要なもの

問 14 あなたは女性に対する暴力をなくすために、どうすればよいと思いますか。

図 5 - 7 女性に対する暴力をなくすために必要なもの



「被害女性が届け出しやすいようにする」は2人に1人

「全体」で最も割合の高いのは、「被害女性が届け出しやすいようにする」(全体 52.6%、女性 56.6%・男性 47.8%)で、2人に1人が選んでおり、他の項目を20ポイント以上上回っている。